



たっこ王子とガーリックレディも待ちわびたにんにく収穫祭

# 田子町 議会だより

2016



## 第88号

平成28年7月20日発行  
青森県田子町議会

### 目次

議案19件を審議	3
一般質問に4議員登壇	4
教育現場や工事状況を現地調査	9
(各常任委員会が現地調査)	
人生初の議会傍聴をして	10
(町の人にインタビュー)	

# 第2回定例会

## 定例会のあらまし

平成28年第2回定例会は6月8日から10日までの3日間の会期で開催されました。

本会議初日には、条例改正や補正予算案など18件の議案が提出され、町長から提案理由の説明がありました。

9日の一般質問には4人の議員が登壇し、町政全般にわたり活発な議論を交わしました。

10日最終日には、定例会初日に提出された議案18件について審議した後、追加日程として1件の議案の審議と、1件の陳情の付託がありました。

## 主な補正予算

### 一般会計 歳入

個人番号カード交付事業費補助金 200万8千円  
個人番号交付に係る補助金として

未来を変える元気事業費補助金 1000万円

総合戦略推進事業として交付されるもので補助率は3分の2。サイン整備事業に充当する。

### 進学資金償還金

平成28年度に償還される進学資金分 358万2千円

過疎地域自立促進特別事業債（定住移住） 100万円

定住移住促進通勤支援事業分

過疎地域自立促進特別事業債（産業振興） 780万円

にんにくオリジナル種子増殖事業、ブランド管理事業分として追加

### 一般会計 歳出

総務費  
定住移住促進通勤支援助成金 169万円

田子町在住で町外の職場に通勤する人を対象に交通費を助成するもの

個人番号カード関連事務委任交付金 200万8千円  
地方公共団体情報システム機構に支払うもの

### 衛生費

三戸地区環境整備事務組合負担金 157万5千円  
クリーンセンター屋根修繕の増など

### 農林水産業費

臨時事務員賃金

6次産業推進のための臨時事務員賃金 208万5千円

アンテナショップ販売イベント等活動補助金

町民が販売イベントに参加

する旅費を補助するもの

たつこにんにく製品向上対策事業補助金 714万3千円

不採択となった野菜等生産力強化事業の振り替えとして

### 商工費

ビジネスチャレンジ支援事業費補助金 150万円

新商品開発や技術の取得といった創業支援を補助するもの。

パンフレット制作業務委託料 316万6千円

田子町の四季をとおしての案内パンフレット1万部作成するもの。

### 教育費

上郷小学校構内整備工事

上郷小学校の構内整備工事を実施するもの 390万円

## 陳情

○件名

「所得税法第56条廃止を求める意見書」を国への提出を求める陳情書

○陳情者

八戸民主商工会婦人部

（部長 番澤敬子）

○陳情の趣旨

税法上、民法、労働法や社会保障上でも家族従事者の人権保障の基礎を作るために「所得税法第56条廃止を求める意見書」を国に提出していただきたい。

○審査結果

総務・文教常任委員会に付託

（平成28年6月10日付託）

# 審議結果

補正予算や条例改正など、  
19件の議案が提出され、審議しました。  
結果を一覧で掲載します。

議案番号	件名と主な内容	議決結果
報告第1号	専決処分した事件の承認について（田子町町税条例等の一部改正）	承認 (賛10・否0)
報告第2号	専決処分した事件の承認について（田子町国民健康保険税条例の一部改正）	承認 (賛10・否0)
報告第3号	専決処分した事件の承認について （田子町固定資産評価審査委員会条例等の一部改正）	承認 (賛10・否0)
報告第4号	平成27年度田子町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告のみ
報告第5号	一般財団法人田子町にんにく国際交流協会平成28年度事業計画並びに平成27年度事業報告及び決算について	報告のみ
報告第6号	公益財団法人にんにくネットワーク平成28年度事業計画並びに平成27年度事業報告及び決算について	報告のみ
議案第30号	田子町消防委員会委員の承認について 3名の委員の異動に伴い、新たに次の3名を任命するもの。木根 榮氏（63歳・田子町）、工藤修二氏（59歳・八戸市）、植村昌則氏（53歳・岩手県岩泉町）	承認 (賛10・否0)
議案第31号	田子町消防委員会条例の一部改正について	可決 (賛10・否0)
議案第32号	田子町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について 災害支援団員を新たに設置。定年を70歳とし、報酬は1万円とする。	可決 (賛10・否0)
議案第33号	三戸郡福祉事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について 障害者支援施設やまばと寮以外を民間移譲することから規約の一部を変更	可決 (賛10・否0)
議案第34号	三戸郡福祉事務組合の共同処理する事務の変更に伴う三戸郡地域生活支援センターの財産処分について	可決 (賛10・否0)
議案第35号	三戸郡福祉事務組合の共同処理する事務の変更に伴う障害者支援施設明幸園の財産処分について	可決 (賛10・否0)
議案第36号	定住自立圏形成協定の変更について 八戸市と田子町との間に締結した定住自立圏の形成に関する協定について、新たに連携する取り組みの追加を行うもの。	可決 (賛10・否0)
議案第37号	平成28年度田子町一般会計補正予算（第1号）について	可決 (賛10・否0)
議案第38号	平成28年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）について	可決 (賛10・否0)
議案第39号	平成28年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）について	可決 (賛10・否0)
議案第40号	平成28年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第1号）について	可決 (賛10・否0)
議案第41号	平成28年度田子町水道事業特別会計補正予算（第1号）について	可決 (賛10・否0)
議案第42号	動産の買入れについて（ロータリー除雪車購入）	可決 (賛10・否0)

# 一般質問

一般質問は、町政全般にわたって町に疑問点を問いただし、議員自らの政策提言を行う大事な議員活動の場です。6月定例会では議員4人が一般質問を行いました。

## 行政改革

### 【質問】

町民からのクレームを受ける仕組みを作ったと聞いたが、その意図と内容を伺う。

### 【町長答弁】

これまで各課で対応していた町民の皆様からの苦情解決（クレーム対応）の経緯や内容を共有し、事態の迅速な解決、報告体制の強化、各課・職員同士の連携の強化などを目的として、庁内に「田子町苦情処理委員会」を設置した。

### 【提案】

これは非常に良いことだと思う。一般の民間会社であれば、クレームはお客様のありがたい言葉。ぜひ上手く利用してもらいたい。



宮村尚哉 議員

## 産業経済について

### 【質問1】

農業先進地技術チャレンジ事業の本年度予算が75万円増額されているが、昨年の事業実績と増額理由を伺う。

### 【町長答弁】

本事業は、安心して農業に取り組める支援体制の確立と農業者の資質向上を図るもので、平成26年度より継続実施している。昨年度の主な実績として、アピオス、ニラ、くり新品種「ぼろたん」の栽培

目の栽培方法の普及により、新たな担い手の育成・確保が期待できることから拡充実施するもの。

### 【質問2】

成果報告会にはどのような方々が集まったのか。

### 【産業振興課長答弁】

取り組んだ12グループと産業振興課職員、県の普及振興室、農協等の農業関係者で合計32名が参加。さらにケーブルテレビで4月4日に放送された。

### 【質問3】

パイプハウス再生・導入事業について、新しい事業だが、詳しい導入条件、規模を伺う。

### 【町長答弁】

パイプハウスの立て替え費用の一部を補助することにより、再生産を促進し農業所得の



事業を利用し建てられたパイプハウス

向上につなげ、農業経営の安定を図るもの。  
町内の認定農業者、新規就農者を対象とし、導入から5年以上のハウス営農継続が要件となる。補助額は事業費の3分の1以内または導入面積のうち、平方メートルあたり2千円メートルあたり2千円

### 【質問4】

前年度の実績は。

### 【産業振興課長答弁】

平成27年度は5件分。補助額は134万7千円。葉たばこが4件、キヌサヤ、トマトが1件。

のいずれか低い額。



日 沢 一 雄 議 員

### 世紀越えトンネル

#### 【質問1】

平成2年に町建設課

で仮称不老倉トンネルの可能性を検討、平成5年に鹿角市との情報交換会、平成6年に北奥羽開発促進協議会を

設立、八戸能代間を結ぶ仮称世紀越えトンネルとして第1回目の要望活動が行われた。以来四半世紀にわたるなかで田子町と鹿角市による要望活動がほぼ70回、現地調査が15回行われていた。その後における進捗状況、建設後におけるメリット、今後の実現にむけた戦

略についてどのようにお考えか。

#### 【町長答弁】

平成11年に八戸能代間北東北横断道路整備促進期成同盟会が設立。26年2月に町民の民間

団体が八戸・能代間地域連携協議会を、鹿角市・田子町議会が世紀越えトンネル建設加速化協議会を発足し活動している。

27年度には路線選定整備効果の調査を実施。効果として急勾配、急カーブの解消により安全性が確保され所要時間の短縮。三八圏域と

米代川流域の広域物流の促進による交流人口の拡大。医療ネットワークが形成され、八戸に加えて、弘前、鹿角方面への患者搬送の増加。さらに現在の300台から1800台ぐ

らいまでの交通量の増加が考えられる。早期着工を目指し、費用便益の数値を高めるために交通量の増加に努めていきたい。また、民間団体による物品の販売等、活発な交流に努めていきたい。

八戸・能代間の32町(合併前)で構成する期成同盟会は、それぞれの自治体の道路整備が中心であり、トンネルについては鹿角市、田子町議会で構成される加速化協議会としていますが、要望力が弱く、役人を動かさない。このことが四半世紀も続いてきている。

### 町の人口減少対策

#### 【質問】

今後、八戸市、能代市や沿線の市町村も加えたトンネルに特化した世紀越えトンネル建設促進協議会として要望することが重要であると考えるが伺いたい。

#### 【町長答弁】

八戸市にとつては、北東北の畜産の飼料基地として、また環境負荷の少ない天然液化ガスの東北各県への供給基地として、トンネルの重要性が認識されてきていると思われる。八戸市長を先頭に、沿線の市町村のご理解も

いただけるよう努力して参りたい。まずは田子町でのフォーラム開催に向けて、沿線の市町村やトラック協会、業界の皆様と連携しながら早期着工に向けて努力して参りたい。

八戸市にとつては、北東北の畜産の飼料基地として、また環境負荷の少ない天然液化ガスの東北各県への供給基地として、トンネルの重要性が認識されてきていると思われる。八戸市長を先頭に、沿線の市町村のご理解も

#### 【質問】

国土交通省が行ったアンケート調査によると、30代の農山漁村への定住願望がこの10年間で約2倍の32.7%

と増加傾向にあると発表している。Uターン・Iターンの若者を受け入れる施策の充実が望まれるが伺いたい。

#### 【町長答弁】

現在、さまざまな結婚促進事業、子育て支援事業、定住・移住促進対策事業を行っている。また、町内で若手

農家や新規就農者が起業しやすいよう、創業塾等の事業展開に努めている。これら施策や支援策の町外、県外への周知は、町のホームページや「全国移住ナビ」といったインターネットの他、県内17市町村を紹介する「あおり美和」、八戸圏域の

魅力を紹介する「半都半邑」といった冊子に掲載し、東京の「青森暮らしサポーターセンター」やアンテナショップで提供している。

また、東京で開催予定の「青森・秋田・岩手」の暮らし発見フェアにおいて、地域の紹介や相談を行う予定で、

今後もこれらのようなセミナーにも可能な範囲で参加していきたいと考えている。

#### 【提案】

ふるさと納税の返礼に田子町の体験ツアーを作ってはどうか。自然の観光地を回って楽しんでもらい、田子町を体感してもらいたい。

よその地域から来る人にすれば、田子は良いところだ、住み続けたいという願望が生まれてくるのではないかと



欠端則夫 議員

### ガーリックステーキご飯

【質問1】  
ガーリックステーキ  
ごはんが好評でたいへ  
ん良いが、店舗を増や  
す考えはあるか。

【町長答弁】  
料理開発をした店舗  
と同様に情熱を持ってな  
いことが多く、1年間  
は店舗を増やさず3店  
舗が連携して提供して  
いく。

【質問3】  
売れるということとは

【町長答弁】  
田子には3つの肉が  
ある。農家の継続のた  
めの支援は続けて行く  
が、流通の中  
で関わる人を  
多くし、町の  
中が潤うこと  
が最も大事だ  
と思ってい  
る。その中で  
問題点があれ  
ば対応してい  
く。



大人気ガーリックステーキご飯

1店舗あたり50食程

【質問2】  
3店舗で1日何食が  
可能なの。また、横の  
連携はとれているの。

【産業振興課長答弁】

原材料も多く必要にな  
る。田子で養豚を行っ  
ている家が2戸だが続  
けてもらう方策は？

【町長答弁】

養豚産業に限らず、  
農林畜産業の施設等の  
整備や経営技術の確立  
に向けた支援、防疫・  
衛生対策の強化などを  
図る。

【質問4】

養豚で大変なのは環  
境問題と、と殺場が遠  
い。補助などはないか。

【町長答弁】

### 災害時の対応は

【質問1】

災害時の避難所と食  
料や毛布等の確保は。

【町長答弁】

万一の際、学校施設  
など43カ所を避難所に、  
高齢者施設など7施設  
を福祉避難所に指定し  
ている。備蓄品として  
は毛布120枚、エア  
ーマット360枚、使  
い捨てトイレ1000  
枚、飲料水920本、  
フリーズドライビスケ  
ット864食分を備蓄  
している。

【質問2】

他県他町村等との連  
携はあるか。また、田  
子に断層はあるか。

【町長答弁】

「青森県消防相互応援  
協定」をはじめ広域的  
な応援態勢を確保して  
いる。また、町内の事  
業者と協定を締結して  
いる。

### コミュニティバス

【質問】

コミュニティバスを  
三戸町でも行っている  
が、当町は下田子、三  
戸は丹内沢で方向が変  
わる。その間を歩く人  
を何度か見た。歩道も  
なく車の通行量も多  
い。安全上からも接続  
を考えられないか。

【町長答弁】

問題と予想されるの  
が、法的な1日の運行  
距離の定めと、バスダ  
イヤの時間変更が可能  
なのかという点。また、  
丹内沢における三戸町  
のコミュニティバスが  
1日おきの運行で接続  
しても利用が見込めな  
い状況ではないかと考  
えられる。

南部バスと協議して、  
距離の延伸や時間の調  
整が可能なかを検討  
し、可能性について研  
究して参りたい。



沢口博二 議員

### アンテナショップ

【質問1】現在の経営状況は。

2年はこの事業を推進したい。

【町長答弁】

27年度は、5ヶ月の売上高は357万円。補助金がない現在でも株ナチュラルアートの運営している。

【質問3】

アンテナショップの目的は何か。

【町長答弁】

① 田子町を多くの人に知ってもらう

② 町民の所得向上をはかる

③ 情報収集をもとに新商品の開発、販売をする

④ ここを起点に新たな販路を開く

⑤ 観光、定住、移住の情報発信をする

【質問2】今後の展開をどのように考えているか。

【町長答弁】

5月11日に2年目の補助金申請が不採択となり、現在、地方創生事業推進交付金の申請をしている。最低でも

### 美しいまちづくり条例

【質問1】条例の具体策づくりは進んでいるか。

【町長答弁】

4月の第三日曜日を「環境美化の日」と定め、町内の一斉クリーンアップ作戦を実施している。また、今年度は「美しいまちづくり推進計画」を策定することとしている。

中学校、自治会等で進める考えはないか。

【町長答弁】

小・中学校については、安全面から難しいと考えている。また、自治会については既に行われているところもあり、今後さらに拡がるように取り組んで参りたい。

【質問2】

河川清掃等を、小・

【質問3】

河川の水質検査を町独自に行っているか。

【町長答弁】

産業廃棄物事業に絡んで、県が水質モニタリング調査を行っており、その結果は環境基準を下回っていない。



町内一斉クリーンアップ作戦

### 職員採用

【質問1】社会人枠の狙いは。人数、年齢の制限は。

【町長答弁】

多彩な経験、知識を持ち、即戦力として期待でき、また、職員構成の偏りの是正もはかれる。人数、年齢は今後検討したい。

まず、現在の実施方法を改善しながら、他町村の導入例の情報を収集し、今後の検討としたいと考えている。

【質問2】

採用の面接官に民間人を入れる考えは。

【町長答弁】

他の類似団体等の比較研究を行い、将来の職員数を探りたいと考えている。

### 林業について

【質問1】

新郷村の「木の駅」制度について、どの程度把握しているか。

【町長答弁】

全国で30を超す地域が実施しているが、新郷の取り組みは、新聞等の情報程度で詳細は把握していない。

【質問2】

調査・研究をする「検討会」を立ち上げるつもりはないか。

【町長答弁】

本年度、仮称「森林等活用検討委員会」を立ち上げ、様々な可能性を探ってまいりたいと考えている。

# 議会活動報告

議員はそれぞれ、議会運営（議会広報編集）委員会、総務・文教常任委員会、産業・民生常任委員会に5人ずつ所属しています。また、特別委員会の活動や、町政に活かすため研修会の参加、先進地の視察を行っています。

## 協議

○実施日 5月25日

議長の諮問を受け、5月25日に開催しました議会運営委員会では、6月8日開会の平成28年第2回定例会の議事日程等について、協議を行った。

## 議会広報編集委員会

○実施日 4月7日

議会だより第87号の内容の最終確認と発行日程について協議を行った。また、6月定例会以降に次回発行の日程やレイアウト等について協議を行うことにした。

## 滞りのない 議会運営を

### 議会運営委員会（議会広報編集委員会）

【構成委員】 宮村尚哉委員長 宇藤大介副委員長 日沢一雄委員  
尾形憲男委員 沢口博二委員

## 事務事業調査

○実施日 5月16日

委員会を開催し、所管に係る事務事業の調査を行った。

管理計画を整備予定。「消防団災害支援団員制度」を創設。

○実施日 5月17日

町のサイン整備計画は、名称サイン、誘導サインを整備。今年度は20基程度整備予定。

## 【教育課関係】

上郷小学校ロータリ1周辺舗装補修工事を6月補正で対応。田子町教育大綱を定め、必要に応じ見直すとのこと。

## 【住民課関係】

防犯灯のLED化整備工事は、9月以降、西館野、中本町、下本町、北側、南側を予定。

### 総務・文教常任委員会

【構成委員】 尾形憲男委員長 宮村尚哉副委員長 宇藤大介委員  
椛本義見委員 澤口勝委員

委員会から、準要保護制度に関する事案の内容を調査後、報告を要望。また、田子高校生の医療費の受給資格書について、年度当初から使用できるよう対策を要望した。

## 【税務課関係】

ふるさと納税は平成27年度実績で2522件3280万4千円。カード決済導入が寄付金増の要因。

## 【総務課関係】

固定資産台帳の整備を2ヶ年で実施。これを基に公共施設等総合

## 事務事業調査

○実施日 5月17日

委員会を開催し、所管に係る事務事業の調査を行った。

説明があり、保育園は現在、整備用地の候補地を検討しているとのこと。

環境関係では、山口地区の養鶏場開発について、公害防止協定の協議中とのこと。

## 【診療所・老健の運営】

医師2名の常勤体制となった。

## 【建設課関係】

世紀越えトンネル具現化の説明と、国道、町道等の整備、発注状況の説明があった。

## 【健康増進課関係】

介護職の初任者研修取得事業を引き続き実施すること。また家族介護支援として、月額2500円を年3回支給すること。

## 【産業振興課関係】

オリジナル品種の弱毒ウイルス研究の取り組み変更と、増殖事業のほ場の変更説明があった。

## 【住民課関係】

低所得者に3万円支給と、臨時給付金として昨年同様、3千円を支給するとの説明があった。

6月補正では、野菜等生産力強化補助金の減額等の説明があった。

## 誘致企業等について 委員会で現地調査を

### 産業・民生常任委員会

【構成委員】 沢口博二委員長 日沢一雄副委員長 蹴揚清人委員  
砂子田康雄委員 欠端則夫委員

学童保育については、現在の利用状況は、現在の利用状況は、



# 常任委員会現地調査

6月22日、総務・文教常任委員会と産業・民生常任委員会がそれぞれの担当内容について現地調査を行いました。総務・文教常任委員会では学校を訪問し施設の状況や子どもたちの様子、産業・民生常任委員会では工事の進捗状況やにんにく種子ほ場等を調査しました。

## 総務・文教常任委員会

### 訪問先

- ① 田子中学校
- ② 田子小学校
- ③ 田子幼稚園
- ④ 清水頭小学校
- ⑤ 上郷小学校
- ⑥ 給食センター



授業を受ける生徒（田子中学校）

### 調査内容

委員3名と教育委員と共に町内の各学校を訪問した。校長より学校経営方針を、教頭より詳細な内容説明をしていただいた後、全クラスの授業を参観し、施設・設備の要望を聞き取り確認した。

中学校では、学校課題や取り組み、進学先、学力状況等、今後における小中連携、中高一貫教育

について話し合った。田子小学校では、電子黒板を活用した授業を見ることができた。幼稚園は現在14名。キッズデーで幼稚園を開放し小学生が訪れている。清水頭小学校にて、給食と一緒に食した後、複式学級の授業を参観。上郷小学校も複式学級。今年10月に学習指導研究発表会が予定されている。最後に給食センターを視察した。

### 学校を訪問して

各学校に特徴があり、特色を生かした教育を展開していると感じた。施設の必要を感じた。緊急時に対応可能な環境整備に努めたい。学習環境はおおむね良好であると思われた。支援員の町からの加配は効果的と感じた。また、照明のLED化は導入を検討すべきものと感じられた。最後に、不断の先生方の尽力に感謝し、子どもたちの成長を願う。

総務・文教常任委員 尾形憲男

## 産業・民生常任委員会

### 調査地

- ① 山口地区（ブロイラー 整備計画地）
- ② 道前トマトハウス
- ③ 落田高屋敷線
- ④ にんにく種子ほ場
- ⑤ 来満養豚場整備予定地



落田高屋敷線の現地調査

### 調査内容

私たち委員5名は、まず山口地区のブロイラー（種卵の採卵）整備計画の説明を受けた後、現地を視察したが、まだ進入路工事を行っているだけだった。続いて道前のトマトハウスを見たが、ハウスのパイプが、細かい物ばかりでなく、太い物まで腐食し折れていた。次は落田高屋敷線の道路工事を調査。

### 現地視察をして

現地視察をしてみたことは、山口地区のブロイラー整備計画と来満養豚場整備計画は町に新たな雇用を作り出してくれるものと考えられる。あとは環境に十分に配慮して進めてほしい。にんにく種子ほ場は日当たり良く、風は林が防ぎそう良かった。トマトハウスのパイプの腐食の問題では、ハウスの建て替えよりも支柱を立てて連結し、使用期間を延ばす方法がある事を所有者から聞いたので、この方法も支援の考えとして進めるべきだと思った。

産業・民生常任委員 欠端則夫

# 町の方から ひと言インタビュー

町の方から、定例会を傍聴しての感想や、議会への意見など、お話を伺いました。

## 人生初の議会傍聴



青森銀行田子支店  
支店長 成田 徹さん (50)

略 歴  
平成28年4月に外ヶ浜町の蟹田支店から田子支店へ

私が当町、田子支店へ着任致しまして、早いもので2ヶ月強経ちます。田子町のことを知るには、まずは議会からと思います。傍聴席へ足を運んだ次第でございます。議会傍聴は人生初めての経験でした。

正直申しまして、質問の内容、町の政策等々まだ理解できるものではありませんでした。これからもっと町政に深く興味を持って、町の問題点等、町民の皆様と同じく関わっていければと考えております。

さて先般、町から個別に各家庭に配布されました「まちの仕事帳」なる、いわゆる田子町の予算説明書を拝見し、非常に感心致しました。町民に対して行われている各分野の事業内容が細かく記載され非常に開かれた町政であることを確信致しました。私も今まで、転勤で県外も含め、相応の市町村で

暮らした経験はありますが、行政側の政策等がこれほど住民に開示されている市町村はほとんど見たことがありません。

話は戻りまして、今回2日間の議会傍聴で思いましたが、傍聴人が少ないことです。先程申しましたが、住民に対する町政の距離は近いところにあると思います。どうぞ町民の皆様、議会に足を運んでみてはいかがでしょう。そして自分の住む町の進む方向を見定めていきたいと思います。

私もこれからは田子町を知るために、そしてお役に立てるよう、町政に積極的に関心を持っていきたいと思いますので、どうぞ皆様これからよろしく願います。

成田支店長、お忙しいなかご協力いただき、ありがとうございました。今後とも、田子町議会をよろしくお願います。

## 編集後記

議会だよりも再発刊後8回目となりました。広報編集委員もだいぶ筆を執ることに慣れてきました。町民の皆様、議会の在り方や議員の活動の一端を知っていただく良い機会となっております。町民皆様、わかりやすい広報誌になるよう心がけ、委員一同協力して誌面作りにあたっています。

最後に、これからの誌面作りに皆様のご意見をお聞かせ願えたら幸いです。

(尾形憲男)

### 発行・編集責任者

議長 澤口 勝

### 議会広報編集委員会 (第88号)

委員長 宮村 尚哉

副委員長 宇藤 大介

委員 日沢 一雄

尾形 憲男

沢口 博二

### 執筆協力

欠端 則夫

成田 徹